

【様式 2】

平成 13 年度授業実践結果

学校名： 岐山 高等学校

授業者等	授業日	平成 14 年 1 月 22 日・30 日	学 年	2 年
	授業者	池井 文子	教 科	家庭一般
	校 種	小・中・高・特	単 元	現代の消費生活
	ねらい	急速に普及したインターネットおよびハイテク犯罪について理解させ、自衛しながら適切に活用しようとする実践的態度を養う。		
機器等	場 所：コンピュータ LAN 教室 接 続：学校インターネット 3（光） 教室内 LAN（100BASE） ソフト：IE6.0、RealPlayer8、RapConcelto for CIA 教 材：「self-difense」 http://www2.tokai-ic.or.jp/video/self-difense/			
授業の流れ	・ ネットワークで接続されている環境についての説明 ・ コンピュータの基本操作の説明および P C 起動（プロジェクト） ・ インターネットの概要（ダウンロード）の説明（プロジェクト） 実演 1（画面操作をプロジェクトで表示する） インターネットで w e b ページを検索する 目的のコンテンツをダウンロードする ファイルとして保存する（ファイル移動） 実演 2（生徒機の集中コントロール） 生徒機を遠隔操作してみせる（接続されていることの便利さ怖さ） 生徒機へファイルの一斉配信（自動実行） ・ ヘッドホンにより個別にビデオ教材を視聴する。（ 25 分） ・ 内容をメモしながら、視聴用紙に記入する。各自で感想を記入する。 ・ 班別に「情報社会の進展に伴う便利さと問題点」について話し合う。 実演 3（生徒機の集中コントロール）			
考察	身近なケータイ電話に対する被害の実例や対応方法を知り、便利さの裏に隠されたハイテクの恐ろしさについて実感できた。 パソコンを持っている生徒も、パソコンについての知識が足りないことに気づき、正確な情報を得ながら使う必要性に気づいた。 教材が「ビデオ」だったので時間配分が容易であった。			